

教育委員会の所管事務に係る
自己点検・評価報告書
(令和元年度事業分)

令和2年11月

西海市教育委員会

目 次

I	教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1 ～ 2
II	学識経験者における所見	3 ～ 10
III	自己点検・評価一覧表	
1	教育委員会の活動状況について	11 ～ 15
2	教育委員会が管理・執行する事務について	16 ～ 21
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1.	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1)	能力や個性を伸ばす教育の推進	23 ～ 26
(2)	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	27 ～ 31
(3)	健康で安全な学校生活の実現	32 ～ 36
(4)	教職員の資質の向上	36 ～ 38
(5)	幼児教育の推進	38 ～ 39
2.	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1)	学習環境の充実	40 ～ 44
(2)	公民館活動の活性化	44 ～ 46
(3)	人権・同和教育の推進	46 ～ 47
3.	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1)	家庭の教育力の向上	48 ～ 49
(2)	青少年の健全育成	49 ～ 52
4.	安心して学べる教育環境の構築	
(1)	安心して望ましい教育環境の実現	53 ～ 54
(2)	安全で快適な教育施設の整備	55 ～ 58
5.	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1)	文化・芸術活動の推進	59 ～ 60
(2)	文化財の保存・保護・活用	60 ～ 62
(3)	活力あるスポーツの振興	63 ～ 66
(4)	スポーツ環境の充実	67 ～ 68

I 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

点検評価の概要

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになっています。

そこで、西海市教育委員会においては、令和元年度における所管事務について、西海市教育振興基本計画の施策体系に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。

外部評価者の意見

点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用にあたっては、次の 2 名の外部評価者より各分野に関して、所見をいただきました。

有川 政秀 氏（長崎県教育会 常務理事）
浅田 眞理 氏（前西海市立雪浦小学校 校長）

評価基準

各施策の評価にあたっては、次の評価基準により A から D のランク付けを行いました。

ランク	評 価 基 準
A	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は目的水準以上であることから、今後も積極的に施策を推進していく。
B	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業がある。今後も概ね現行の方法、手法等により推進していく。
C	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業もある。今後は、課題等を踏まえ、事業の対象や手法について見直しを図りながら展開していく。
D	施策の目的、目標を達成するための課題が多く、各種事業に取り組めないでいる。大幅な事業の見直しを図る。

教育委員会の取組

教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、市ウェブサイトにて会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに応えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えています。

最後に、平成 28 年度に策定された第二期西海市教育振興基本計画の目標達成のためにもこれまで同様 P D C A（Plan-Do-Check-Action）サイクルの実践を重視しながら、本市教育行政の一層の充実を図ってまいります。

令和 2 年 11 月

西海市教育委員会

Ⅱ 学識経験者による所見

(有川 政秀 氏)

西海市教育委員会が令和元年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、年度末のコロナ禍で、教育委員会3課が諸施策を確実に進め、評価と改善を重ねながら事業成果をあげていることを大いに評価します。これは関係職員の直向きな職務遂行態度と努力の結果であり、心より敬意を表します。これに加え、成果が上がった理由の一つに、ウェブサイトを活用があったと感じます。協議内容の公開、会議・研修会開催の予告、スポーツ情報の提供など、多くの有益な情報を市民に届けています。将来は文化財などの発信も予定されています。今後とも、魅力ある情報発信やウェブサイトの有効活用を目指して一層尽力されることを期待します。

次に、キャリア教育を充実し「学力の向上」を目指す取組を肯定的に評価します。「生きる力」の根源は児童生徒が抱く「夢・憧れ・志」であり、キャリア教育はその根源を育むための絶好の機会です。学習の場は学校から社会へ、指導者は教職員から地域の人々にまで大きく広がり、地域あがりの教育活動になります。これはもう一つの主要事業「ふるさとを学ぶ教育」と大いに関係し、「ふるさとの活性化」へ発展する重要な教育活動であると考えます。今後、様々な事業間の関係性を見出し、効果的な事業展開を探る研究も重要であるかと考えます。市長部局や市内3高等学校、地元企業や関係団体との連携を深め、キャリア教育を基盤とした「教育の里づくり」の試みに期待します。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

1. 教育委員会の活動状況について

30回を超える学校訪問、市長や県教育委員、市社会教育委員との意見交換を行い、市民のニーズを拾ったり、自己研修に努めたりしている姿がうかがわれます。その真摯な態度を高く評価します。また、研究大会での事例発表、会議開催の予定や審議内容（議事録）のウェブサイトでの公開など、説明責任を果たそうとする態度は尊く、称賛に値します。会議傍聴者数の増加は市民の教育行政に対する強い関心や期待の現れであり、引き続き教育委員の活動を可視化し、市民にとって身近な教育委員会であることを希望します。

2. 教育委員会が管理・執行する事務について

児童生徒数の減少に伴い、学校の統廃合が進んでいます。学校規模の適正化は教育効果を維持するためのやむを得ない措置であることは理解できます。しかし、「地域とともにある学校」の実現は、その地域が広ければ広いほど難しく、狭ければ狭いほど住民の当事者意識は高くなり、より進むものと考えます。学校の統廃合に当たっては、学校間の格差や地域の衰退が生ずることがないように、本市にある「小学校のあり方を考える懇談会」や様々な機関・団体、地域の活性化に取り組む市長部局の関係各課と連携し、適切な善後策を講じられるよう切望します。

3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

(1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

「地域とともにある学校」は将来の目指す学校像です。市内1小学校をモデル校として、コミュニティ・スクールを設置したことは大きな一歩であると考えます。学校教育目標を学校と地域が共有し、教育課程の実施や学校運営の在り方について研究する取組が、今後他の学校へ波及し、更に発展していくことを希望します。

② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進

道徳教育に関わる情報提供や公開授業参観・授業研究会での指導など、教育委員会が学校と一体となり、積極的に徳育教育を進めていることに敬意を表します。また、ボランティア活動や職場体験活動と連動させ、道徳的实践力を育もうとする学校の取組に大いに賛同します。今後、新学習指導要領が求める「考え、議論する道徳」を目指した質の高い授業づくりの研究をさらに進めてほしいと願います。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

○ 学習環境の充実

図書ボランティアの数は年々増加し、令和元年度初めて中間目標値の半数を超えました。継続的な養成講座開設などの成果であると考えます。ブックスタート実施率は常に100%であり、「図書館まつり」の参加者も着実に増えています。また、コロナ禍にもかかわらず、図書館利用者数や貸出資料数は令和元年度も中間目標値を超えています。これは図書館ネットワークの整備や図書サービスの向上などによる一定の成果だと考えます。今後、本市の課題である児童生徒の平日読書習慣の啓発と定着に向けて、学校教育課所管の「読書活動の推進」事業への一層の後方支援を希望します。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

○ 家庭の教育力の向上

家庭教育学級の開催数が年々増え、「親学び」の機会が増えていることを高く評価します。子どもたちの問題行動の原因は多様化し、家庭や学校だけでは対応できなくなっています。市民総がかりで取り組む必要があります。コミュニティ・スクールのモデル校事業や本市独自の「は・あ・と・ふ・る運動」と接続し、地域の特性に応じた家庭教育学級の在り方について所管課でも検討し、各団体への助言をお願いします。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

○ 安心して望ましい教育環境の実現

全小学校で登下校の見守り活動が展開され、放課後子ども教室や土曜学習の人材バンク登録者が年々増えています。地域の人々の温かい支援の輪が広がっていることを高く評価します。ところで、放課後や土曜日などの教育課程外の学習は、学校教育を補完・深化する重要な学習です。学力向上に大きく寄与します。学校の適正配置が進み、遠距離通学や交通手段に恵まれない児童生徒にとって、そのような学習への参加に不利にならないようにすることが大切です。子どもの身近にある公共施設や廃校の

空き教室を活用するなどして、学習の機会を保障する支援を引き続き切望します。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

○ 活力あるスポーツの振興

小学生や幼児を対象とした水泳教室や体操教室、住民のニーズに応えた出前講座など、生涯スポーツ事業の開催数は中間目標値をはるかに超えています。また、スポーツリーダーバンク登録者数は、令和元年度 10 人となり、中間目標値にぐっと近づきました。関係者の努力に敬意を表します。今後とも青少年のスポーツ指導者の育成や発掘に尽力されることを願います。

令和2年11月10日

有川 政秀

(浅田 眞理 氏)

西海市教育委員会が令和元年度の所管事業について行った自己点検および評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず、総評として、5つの主要施策・16の主要事業で策定された「第二期西海市教育振興基本計画」の目標達成のために、PDCAサイクルを重視した真摯な取組が継続され、その結果、多くの施策項目で望ましい成果が収められていることに敬意を表します。これは、本市教育関係者のマネジメント力の表れであり、課題を明らかにされ、改善への具体的方策をしっかりと策定・共有して取り組んできた結果であると考えます。

個々の取組項目を詳しく見ていきますと、学校教育課・教育総務課・社会教育課それぞれの所管事業において、すでに令和3年度の間目標値を達成されているもの、高いレベルで順調に近づいているもの、中にはまだまだ目標値にはほど遠いけれども確かに前年度以上の成果を上げているもの等々、それぞれの進捗状況が確認されます。

したがって、次年度以降、数値目標が達成されたものは目標の見直しやさらなる中身の充実を図ったり、数値目標が上がらないものは取組内容や成果指標を見直したりして、今後益々の取組の充実、ひいては西海市教育振興基本計画の目標達成を大いに期待します。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

1. 教育委員会の活動状況について

定例会教育委員会のほか臨時で3回の教育委員会を開催するなど、必要性に応じた柔軟な対応力を感じます。コロナ禍等、新たな対応の必要性が高まる中、「開かれた教育委員会」のためにも今後益々の情報公開や情報発信等を通して積極的な説明責任を果たされることを期待します。

また、学校訪問の回数が大きく伸びていることは嬉しいことです。今後とも教育現場の実情をしっかりと捉えて、教育の質の向上に結びつけていただきたいと思います。

2. 教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされており、特記する事項はありません。

3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

(1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

○ 学力向上プロジェクト・学力向上支援事業・学力調査委託事業の3本柱で策定されている西海市AIプランに基づいた取組や学びの土台づくり推進事業の取組は、大いに評価できます。指導主事や学力向上スーパーバイザーによる教員指導は大きな成果を感じますし、大学教授の講演や具体指導も効果的だと考えます。今後も継続されることで確かな指導力を身に付けた教員の育成を期待します。

○ 家庭での学習時間の達成状況は大きな成果が見られず課題であると言えます。プロジェクトの核である学力向上推進会議等で審議され、目標達成に向けた新たな具体的方策を考えてみてはいかがかと考えます。

- 特別支援教育に関しては、学校現場以上に保護者・地域住民の意識に課題があるように思われます。特別支援教育に対する基本的な考え方、それに対する市としての取組（たとえば相談体制紹介・指導教諭の活用・学習支援員の配置等）等について積極的に情報発信され、特別支援教育に対する意識・理解を高めていただくことを期待します。当然ながら一人一人の困り感をもった子供たちを支援するため、さらなるマンパワーの増加・配置も計画的に実施されることを期待します。
- コミュニティスクールの設置校については研究指定校の発表会も開催され、段階的な進捗が確認されます。今後は設置校の増加もですが、各学校が地域とともにある学校づくりのために力を入れていることなどを紹介し合う場などを作って、取組を市全体で共有したり確認し合ったりしながら高めていくことも必要ではないかと考えます。

② 豊かな心とふるさとを学ぶ教育の推進

- 「特別の教科 道徳」の完全実施を一つの機会と捉え、研修会の開催や各学校での授業研究会など、積極的に心の教育に取り組んでおられることに感謝します。さらに、各学校が体験活動や他領域と絡めて道徳の授業を充実させていこうとされているところも素晴らしいと感じます。さらなる取組の充実を期待します。
- 平日の読書週間の確立はここ数年微増で推移していますが、中間目標値と比較しますとまだ大きな開きがあります。家庭での学習習慣の確立と併せて、市全体での共通取組を考えてみられてはどうかと考えます。また、図書館司書や学校図書館運営補助員の配置は読書活動推進に一役を担っており、司書教諭と連携した取組は効果的であると考えます。引き続き各学校への配置をお願いします。
- 不登校児童生徒の改善率が年々下がっているようですが、市としてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教育相談員等相談体制の整備に尽力され、子どもたちへの支援や温かな見守りに生かされているところは評価に値します。いろいろな生活環境で育ってきている子どもたちの悩みの解消には時間がかかりますが、今後とも根気強い取組に期待します。

③ 健康で安全な学校生活の実現

- う歯罹患者が中間目標値よりも大きく下回っており、取組の成果を感じます。朝ご飯の摂取同様、今後とも取組の強化をお願いします。
- 報告の対象の変更はあるものの、体力テストの成果が前年度より大きく上回ったことは素晴らしい成果です。日頃より、各学校において体力向上アクションプランを策定し地道に取り組まれている成果の表れと考えます。さらなる継続を期待します。
- 学校給食の地産地消に関しては、仕入れ物資の数・価格等の問題で一概に地産に期待することは難しいことかもしれませんが、継続的な努力を期待します。
- 学校給食施設の大規模改修については、数値目標の達成以上に安全安心な給食の提供を念頭に今後とも対処してほしいと願います。

④ 教職員の資質の向上

- 教職員の資質向上、教育の今日的課題等を認識し、積極的に事業の立ち上げや研修会の開催、学校訪問等に尽力されていることに敬意を表しますし大いに評価します。今後とも

学校現場の負担感等も考慮しつつ、皆が一緒に学ぶ機会の設定等益々の取組の充実を期待します。

⑤ 幼児教育の推進

- 幼・保・認こ・小の連携に関しては、学校行事への参加や情報交換会の実施を中心に連携が図れていることを嬉しく捉えます。また、教職員の合同研修についても特別支援教育に関する研修機会がもてたことを評価します。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

- 社会教育の重要性を認識し「教育の里づくり」に努めようと、社会教育講座の開設、図書館ネットワークの整備や図書サービスの向上等に取り組まれていることに敬意を表します。今後ともマンネリ化を防いだ魅力ある講座の開設、市民への情報の周知を徹底させサービス向上に努めるなど、事業取組の継続をお願いします。
- 子どもの読書活動を充実させる目的で開催されている図書館まつりですが、少ない予算で実施できていることは素晴らしいと考えます。各学校においても有志の図書ボランティアの方々が取組をなされているようですが、せっかくの事業、予算を増額させ、時には著名な作家を招聘した学びの場をつくり、読書活動の推進につなげてはどうかと考えます。

② 公民館活動の活性化

- 公民館活動の自発的活動の展開や住民協働の地域づくりのために、特色ある自治公民館活動に補助金を交付していることは素晴らしいと考えます。すでに中間目標値はクリアしていますが、数値目標以上にさらなる周知のための広報活動を充実させ、多くの市民が満足する状況を築いてほしいと思います。

③ 人権・同和教育の推進

- 「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」をめざし、「西海市人権のつどい」を開催し学びの場を提供していることは評価に値します。会場の広さが関係するため参加者の延べ人数で事業を評価することはいささか問題ですが、いずれにしても、今後はつどいの内容の共有や人権意識の高揚を目的とした全市的な広報活動の充実に尽力されることを期待します。
- 学校におけるいじめ解決の割合が100%ということは大いに評価できます。いじめによって尊い命が奪われることのないよう今後とも取組の充実に期待します。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

- 市全体で子育て支援に力を入れ、その結果各学校PTAを中心に家庭教育学級が開催されていることはよいことだと考えます。子どもの発達段階に応じた保護者の悩みや不安に応える形での家庭教育学級の開催を今後とも期待します。できれば、講師の情報を一覧化して共有・活用していくと、更に積極的な教室の開設、公民館における家庭教育講座の開設にもつながるのではないかと考えます。

② 青少年の健全育成

- 青少年健全育成事業および啓発活動の実施が伸びていることは素晴らしいことです。今後とも「ココロねっこ運動」や西海市独自の「は・あ・と・ふ・る運動」を更に推進していけるよう、広報啓発活動の充実や学校および関係団体との連携に努めてほしいと願います。
- まずは1回から、各地域の若い人材を中心とした指導者研修会の開催を期待します。
- 子ども夢基金の活用が増えていることはよい傾向だと考えます。この基金の活用で少しでも子どもたちに本物体験の場を与えられるよう、周知徹底および申し込み事務の簡略化等をお願いします。
- 子どもたちを取り巻くメディア環境は危険がいっぱいであり、メディア安全指導員の数もありますが、どれだけ活動できたかの視点も加えて評価してほしいと考えます。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

① 安心で望ましい教育環境の実現

- 学校の適正配置の促進については、保護者・地域の理解・協力が不可欠です。たとえば、保護者が学校の現状に不満をもっていなければ理解も得られにくいと考えます。いずれにしましても、子どもたちの健やかな成長との関連を慎重に検討しながら、丁寧な対応をお願いします。
- 放課後子ども教室や土曜学習の開催を通して子どもたちの安全な居場所や学びの場を保障していることは素晴らしいことです。事業の継続・充実を期待します。

② 安全で快適な教育施設の整備

- 学校トイレの洋式化に関しては、計画的な改修をお願いします。
- 学校の温暖化対策としての空調設備の設置は大いに評価できます。今後は、各学校の要望等聞き取りながら、更に望ましい教育環境の確保を期待します。
- 学校現場に統合型校務支援システムの導入やGIGAスクール構想の話題が急速に浮上している今日、不便さを感じる事のない教育ネットワークの構築は喫緊の課題であると考えます。早期の実現を期待します。
- 教職員の人事異動方針との絡みで市外から本市に勤務される方が増えています。快適に住んでもらえる住宅の整備をお願いします。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

① 文化・芸術活動の推進

- 市民による文化事業開催の支援することも大切です、市としてもプロによる本物の舞台芸術に触れる機会をつくり市民の心を豊かにすることも大切です。

② 文化財の保存・保護・活用

- さいかい市民ミュージアム（博物館）の創設は大変魅力的です。老朽化している民俗資料館に代わる歴史・文化の拠点づくりに大いに期待します。
- 地域の伝統文化継承のためにも、無形文化財の映像記録制作活動に力を入れ、後世に残していくことを期待します。

③ 活力あるスポーツの振興

- 人生８０年というのはもう過去のこと。高齢者の体力向上が明確になり平均寿命も更に延びてきている今日です。生涯スポーツを通して、市民一人一人が生きがいをもった日常生活を送れるよう、今後ともスポーツに触れる機会や場づくり等に尽力ください。

④ スポーツ環境の充実

- 市内にあるスポーツ施設の整備充実は予算が伴うため年次計画で行う必要がありますが、特に大瀬戸総合運動公園陸上競技場の補修改善については緊急性を感じます。

令和２年１１月１０日

浅田真理

Ⅲ 自己点検・評価一覧表

1 教育委員会の活動状況について

中項目	小項目	元年度	30 年度	内容等
1 教育委員会の構成	① 構成数	5 人	5 人	うち、小中学校の保護者 1 名
	② 平均年齢	60 歳	59 歳	47 歳・1 名、59 歳・1 名 60 歳・1 名、63 歳・1 名 71 歳・1 名 (令和 2 年 3 月 31 日現在)
	③ 性別	男性 3 名 女性 2 名	男性 3 名 女性 2 名	
2 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議開催数	15 回	13 回	定例教育委員会を 12 回、臨時教育委員会を 3 回開催した。
	② 会議傍聴者数	14 人	7 人	教育委員会会議の開催について、市ウェブサイト上に掲載するなど会議開催の周知を図った。
	③ 議事録の公表状況	15 件	13 件	教育委員会会議録を市ウェブサイト で公開した。
3 市長との連携	① 意見交換会の状況	2 回	2 回	7/30、11/29 に開催された総合教育会議において、市長との意見交換を実施した。
4 教育機関等との連携	① 学校への訪問	33 回	24 回	別紙のとおり、33 回の学校訪問を行い、延べ数で 51 名の教育委員の出席があった。
	② その他社会教育施設への訪問	1 回	1 回	社会教育委員と合同で社会教育施設及び社会体育施設の状況を確認し、意見交換を行った。
	③ 長崎県教育委員会との意見交換	2 回	2 回	別紙のとおり、県教育委員会と 2 回の意見交換を行った。
5 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	3 回	2 回	別紙のとおり、3 回の研修会に延べ 10 名参加した。

幼稚園・小中学校訪問状況

年 月 日	曜日	学 校 名	参加委員数	備 考
平成 31 年 4 月 9 日	火	市内小学校	4 名	入学式
平成 31 年 4 月 9 日	火	市内中学校	5 名	入学式
平成 31 年 4 月 10 日	水	大島幼稚園	1 名	入園式
令和元年 5 月 12 日	日	市内中学校	1 名	体育祭
令和元年 6 月 2 日	日	市内小学校	1 名	運動会
令和元年 6 月 17 日	月	西彼北小学校 大島東小学校	1 名	学校訪問
令和元年 6 月 26 日	水	西海小学校	1 名	学校訪問
令和元年 6 月 28 日	金	大崎中学校 大島西小学校	1 名	学校訪問
令和元年 7 月 3 日	水	西彼中学校	1 名	学校訪問
令和元年 7 月 10 日	水	大瀬戸中学校 ときわ台小学校	1 名	学校訪問
令和元年 9 月 23 日	月	西彼保育園・天真幼稚園	1 名	運動会
令和元年 10 月 3 日	木	崎戸小学校	1 名	研究発表会
令和元年 10 月 6 日	日	大島幼稚園	1 名	運動会
令和元年 10 月 8 日	火	大瀬戸中学校	1 名	マレーシア・マラッカ 州教育局表敬訪問
令和元年 10 月 15 日	火	西海東小学校	3 名	学校訪問
令和元年 10 月 17 日	木	西彼中学校	1 名	文化祭
令和元年 10 月 18 日	金	西海中学校	1 名	文化祭
令和元年 10 月 25 日	金	大瀬戸中学校	1 名	学習発表会
令和元年 10 月 27 日	日	西海北小学校	1 名	北小祭り
令和元年 10 月 31 日	木	大瀬戸中学校	1 名	研究発表会
令和元年 11 月 2 日	土	大崎中学校	1 名	文化祭
令和元年 11 月 10 日	日	大串小学校 西彼北小学校 大島西小学校	1 名	ふれあい祭感謝祭 三世代ふれあい祭
令和元年 11 月 14 日	木	大瀬戸小学校	1 名	研究発表会
令和元年 11 月 20 日	水	西海北小学校	1 名	学校訪問
令和元年 11 月 22 日	金	大瀬戸中学校	3 名	学校訪問
令和元年 11 月 27 日	水	雪浦小学校	3 名	学校訪問
令和元年 11 月 28 日	木	大島東小学校	2 名	研究発表会

令和元年 11 月 30 日	土	江島小中学校	1 名	文化祭
令和 2 年 1 月 28 日	火	西海北小学校	2 名	研究発表会
令和 2 年 1 月 29 日	水	西海小学校	3 名	給食週間
令和 2 年 2 月 2 日	日	雪浦小学校	1 名	春を迎える会
令和 2 年 2 月 6 日	木	大島東小学校	2 名	春を迎える会
令和 2 年 2 月 15 日	土	西彼中学校	1 名	サイエンスワールド
計			51 名	

その他の活動状況

年 月 日	曜日	内 容	参加委員数	備考
令和元年 12 月 26 日	木	社会教育委員との意見交換会	5 名	
計			5 名	

長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和元年 5 月 21 日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	3 名	諫早市
令和元年 11 月 8 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	4 名	長崎市
計			7 名	

研修会への参加状況

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和元年 5 月 21 日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	3 名	諫早市
令和元年 8 月 1 日	木	九州地区市町村教育委員会研修大会	4 名	大分市
令和元年 11 月 8 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会 (事例発表「青少年スポーツ振興基金」と「は・あ・と・ふ・る運動」の取組について)	4 名	長崎市
計			10 名	

2 教育委員会が管理・執行する事務について

中項目		活動指標	元年度	30 年度	内容等
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討件数	2 件	3 件	西海市スポーツ推進審議会の答申他 1 件について審議した。
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討件数	21 件	24 件	教育委員会規則 13 件、訓令 3 件、告示 5 件について制定改廃を行った。
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討件数	0 件	1 件	令和元年度該当なし。
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討件数	4 件	3 件	市内小中学校教職員の人事異動等について検討した。
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討件数	1 件	1 件	教育委員会の自己点検・評価について検討した。
6	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算関係検討件数	7 件	9 件	当初予算及び補正予算について検討した。
		条例関係検討件数	2 件	1 件	西海市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の提案等について検討した。
		その他検討件数	0 件	1 件	令和元年度該当なし。
7	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	0 件	0 件	令和元年度該当なし。
8	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	1 件	1 件	令和 2 年度使用小学校教科書及び令和 2 年度使用中学校教科書の採択について検討した。

中項目		活動指標	元年度	30 年度	内容等
9	県費負担に係る教職員の任免その他の進退について内申すること	検討件数	0 件	0 件	令和元年度該当なし。
10	教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること	検討件数	22 件	23 件	西海市学校医及び学校歯科医等の各種委員会委員の委嘱について検討した。
11	市文化財の指定又は解除に関すること	検討件数	1 件	0 件	横瀬郷の靈魂塚の西海市指定有形文化財への指定について検討した。
12	学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更を決定すること	検討件数	0 件	0 件	令和元年度該当なし。
13	1 件 1,000 万円を超える事業計画に関すること	検討件数	2 件	3 件	令和元年度に実施する大型事業について検討した。
14	教育財産の取得及び処分について市長に申出を行うこと	申出件数	3 件	4 件	教育財産の取得 2 件、用途廃止 1 件について検討した。
15	その他	検討件数	2 件	1 件	教育文化スポーツ功労表彰について検討した。
	計		68 件	75 件	

(参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件 名	結果	中項目
第4回 定例会	議案	第31号	西海市学校医及び学校歯科医の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第32号	西海市いじめ等調査委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第33号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第34号	西海市就学支援委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第35号	西海市学校運営協議会（西海市立大瀬戸小学校）委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第36号	西海市立小・中学校省令主任の任命について	原案 可決	10
	議案	第37号	西海市小中学校適正配置等審議会（大崎地区審議会）委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第38号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	報告	第2号	平成31年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 承認	13
	報告	第3号	西海市スポーツ推進審議会の答申について	原案 承認	1
第5回 定例会	議案	第39号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第40号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第41号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第42号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第43号	西海市立図書館協議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第44号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第45号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第46号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第47号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第48号	横瀬郷の霊魂塚の西海市指定有形文化財への指定について	原案 可決	11
	報告	第4号	平成30年度教育費補正予算（第6号）について	原案 承認	6
第6回 定例会	議案	第49号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	原案 承認	10
	議案	第50号	西海市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会委員の委嘱について	原案 承認	10
	議案	第51号	財産の取得について（中浦ジュリアン記念公園用地）	原案 承認	14
	議案	第52号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	報告	第5号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について）に係る専決処分の承認について	原案 承認	6

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
	報告	第6号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第1号)に係る専決処分の承認について	原案承認	6
第2回臨時会	議案	第53号	職員の処分について	原案可決	4
	議案	第54号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(財産の取得について)	原案可決	14
第7回定例会	議案	第55号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱及び任命について	原案可決	10
第8回定例会	議案	第56号	令和2年度使用小学校教科書及び令和2年度使用中学校教科書の採択について	原案可決	8
	議案	第57号	西海市立小学校及び中学校処務規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第58号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第3号)	原案可決	6
第3回臨時会	議案	第59号	教職員の処分について	原案可決	4
第9回定例会	議案	第60号	平成30年度西海市教育委員会自己点検・評価について	継続審議	—
	議案	第61号	教育財産の用途廃止について(教職員住宅)	原案可決	14
	議案	第62号	西海市立幼稚園保育料徴収規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第63号	西海市幼児教育あんしん支援事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第64号	西海市私立幼稚園預かり保育支援事業費補助金等を廃止する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第65号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第66号	西海市教育委員会非常勤職員の任用に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	報告	第7号	平成30年度西海市一般会計(教育費)決算認定について	原案承認	6
第10回定例会	議案	第67号	西海市立小学校のあり方を考える懇談会(大瀬戸地区)委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第68号	教職員の服務監督権者による指導措置について	原案可決	4
第11回定例会	議案	第60号	平成30年度西海市教育委員会自己点検・評価について(継続審議)	修正可決	5
	報告	第8号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第4号)に係る専決処分の承認について	原案承認	6
第12回定例会	報告	第9号	令和元年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案可決	13
第1回定例会	議案	第1号	令和元年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の決定について	修正可決	15
第2回定例会	議案	第2号	大崎地区小学校適正配置(学校統合)実施計画の決定について	修正可決	1
	議案	第3号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第6号)	原案可決	6
	議案	第4号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(令和2年度教育費予算)	修正可決	6
	議案	第5号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(西海市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	原案可決	6
	議案	第6号	西海市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第7号	西海市立小学校及び中学校処務規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
	議案	第 8 号	西海市小中学校適正配置等審議会設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 9 号	西海市奨学生選考要領の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	報告	第 1 号	令和元年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の追加決定に係る専決処分の承認について	原案承認	15
第 1 回臨時会	議案	第 10 号	令和 2 年度教職員人事異動について	原案可決	4
第 3 回定例会	議案	第 11 号	西海市学校医及び学校歯科医の委嘱について	原案可決	10
	議案	第 12 号	西海市立小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 13 号	西海市招致外国青年任用規則について	原案可決	2
	議案	第 14 号	西海市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 15 号	西海市小中学校適正配置等審議会設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 16 号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規程規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 17 号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 18 号	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金のうち保護者等から徴収する額を定める要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第 19 号	西海市招致外国青年人事評価要領の制定について	原案可決	2
	議案	第 20 号	西海市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第 21 号	西海市教育委員会非常勤職員の任用に関する規程を廃止する訓令の制定について	原案可決	2

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善				
成果指標	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率				
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	100%	—
事業内容・成果	平成27年2月に作成（令和元年12月改訂）した「授業実践の視点」や各種学力調査結果に基づいた各学校の学力向上プラン等を基に研究授業を全ての教員が年間1回以上行った。また、教育委員会事務局としても、各学校の校内研修に出向き、指導助言を行うことで授業改善を図った。			評価	A
課題・方向性	学力向上は本市の重要課題である。 西海市AⅠプラン、学びの土台づくり推進事業を有効に活用した授業改善を推進する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	学力の向上						
施策の方向性	キャリア教育の推進						
成果指標	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	—		
事業内容・成果	将来の生き方を視野に入れ、「夢・あこがれ・志」をもった子供を育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリア教育の充実を図った。令和元年度からキャリア・パスポートの作成も開始している。					評価	A
課題・方向性	社会の変化に対応し、たくましく生き抜くことができる児童生徒を育成するため、計画的にキャリア教育に取り組む。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	家庭での学習時間と内容の充実				
成果指標	塾等を含む平日の家庭学習時間達成率				
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小低：－ 小高：－ 中：－	小低：21.7% 小高：52.2% 中：34.3% ※小学校高学年は90分以上のデータがないため、60分以上の達成率である	小低：19.9% 小高：56.8% 中：17.3% ※小学校高学年は90分以上のデータがないため、60分以上の達成率である	小低：100% 小高：100% 中：100%	－
事業内容・成果	児童生徒の家庭学習の充実に向け、学力向上プロジェクト小・中連携検討チームを中心に対策を考え、各学校とPTAが連携しながら進めている。			評価	C
課題・方向性	目標時間を達成している児童生徒はまだ少ない。家庭学習の充実に向けた教職員の意識を高めるとともに、引き続き小・中連携検討チームの活動の推進や、家庭や生徒会と連携した取組を図る。また、児童生徒が将来への目標を持ち、学習意欲を高めるため、キャリア教育の充実を図る。なお、目標値が現状や県全体の指標とも異なることから見直しが必要である。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	特別支援教育の充実						
施策の方向性	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実						
成果指標	研修の充実度						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	—	99%	99%	100%	—		
事業内容・成果	西海市教職員夏季研修（特別支援教育）では市内小・中学校から60名が参加し、県立川棚特別支援学校教頭による講義を受けた。また、特別支援教育コーディネーター連絡協議会や特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会、学習支援員・特別支援教育補助員研修会でも特別支援学校から講師を招き、研修の充実を図った。				評価	A	
課題・方向性	教職員の特別支援教育への理解や経験、指導力は年々高まってきているため、経験や力量に応じた研修のあり方を適宜見直しながら、よりよい研修が行えるように努める。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	特別支援教育の充実						
施策の方向性	校内支援体制の充実						
成果指標	学習支援員配置充足度						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	85%	100%	100%	100%	18,657		
事業内容・成果	児童生徒の状況やニーズに応じて、担任や特別支援教育コーディネーターと連携しながら、意図的・計画的な校内の支援を可能にするため、学習支援員・特別支援教育補助員を8小学校、4中学校及び大島幼稚園に、計21名を配置した。					評価	A
課題・方向性	通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童は年々増加傾向にあり、学校からの要望数も多くなっている。今後も各学校の実態把握に努め、状況等に応じて適切に配置する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	特別支援教育の充実						
施策の方向性	相談体制の充実						
成果指標	専門機関との連携回数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	11回	12回	11回	12回	－		
事業内容・成果	西海市就学相談会 2 回、長崎県教育センター巡回教育相談 2 回、就学支援委員会 3 回、療育機関就学ガイダンス 4 回、計11回の連携を行っている。また、各学校においては地域支援事業を活用した、特別支援学校への相談も積極的に行っており相談体制の充実を図ることができた。				評価	B	
課題・方向性	今後も専門機関との連携を積極的に行い、相談体制の充実を図っていく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	長崎県学力調査（中学校英語）で60%以上理解している生徒の割合					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	30%	—	60%	18,077	
事業内容・成果	英語を母国語とする5名のALTにより、児童生徒に対し英語教諭又は担任教諭とともに英語指導を行った。生きた英語に触れることで、語学力の向上と国際理解を深めることができた。また、1名の英語教育指導員を小学校に派遣することにより、小学校外国語活動の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	小学校中学年への外国語活動の導入及び高学年の外国語科開始に伴い、更なる英語教育の充実を図るため、指標とする学力調査や英語指導助手のより効果的な活用法について、更に研究を深めていく。なお、令和元年度においては、長崎県学力調査が無かったこともあり、成果指標の見直しが必要である。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	コミュニティ・スクールの主旨を生かした学校運営の推進					
成果指標	コミュニティ・スクール設置校数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0校	0校	1校	2校	321	
事業内容・成果	「地域共同社会」として発展してきた本市の良さを生かながら、地域・保護者・学校・教育委員会が協力して、コミュニティ・スクールの形成に向けた準備・研究が進んできている。 西海市でコミュニティ・スクールを推進するための環境整備に取組み西海市学校運営協議会規則を制定し、大瀬戸小学校にコミュニティ・スクールを設置した。				評価	B
課題・方向性	大瀬戸小学校をモデル校として、コミュニティ・スクールの設置・充実を推進する。その他の学校においても「地域とともにある、特色ある学校づくり」に向け、準備・研究を進めていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	道徳教育の充実						
施策の方向性	道徳教育に関する研修の推進						
成果指標	教職員を対象とした研修会の実施						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	1回	1回	1回	継続	—		
事業内容・成果	小学校及び特別支援学校小学部では平成30年度から、中学校及び特別支援学校中学部では、令和元年度からの「特別の教科 道徳」の全面実施に向け、長崎県道徳教育推進協議会で入手した国の動向に係る情報を市内関係職員に提供した。				評価	A	
課題・方向性	道徳教育全体計画別葉の作成に関する研修、各学校における道徳教育の推進状況についての情報交換・協議を行う。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	道徳教育の充実						
施策の方向性	研究授業を中心とした授業の質の向上						
成果指標	道徳科の授業研究会を実施している学校の割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	100%	—		
事業内容・成果	市内17校において、校内で授業研究を行った。					評価	A
課題・方向性	学校公開日、心を見つめる教育週間等で公開される授業を参観するとともに、各学校での授業研究会を通じて指導を行う。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	道徳教育の充実						
施策の方向性	道徳教育の場の充実						
成果指標	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	100%	—		
事業内容・成果	各学校の教育方針に基づき、ごみ拾いや地域の清掃等のボランティア活動や中学校における職場体験学習等を実施し、道徳的实践力を育んだ。					評価	A
課題・方向性	児童生徒自らが成長を実感でき、これからの活動や目標が見付けられるよう、学校や家庭・地域社会における職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの道徳性を養うための体験活動や情操を育む活動を積極的に活用し、道徳的实践力の推進を図る。地域の人々や保護者から積極的に授業の参加協力を得たり、道徳教育推進教師との連携を図ったりして、計画的な指導を行うようにする。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進						
施策の方向性	ふるさとについて学ぶための副教材の充実						
成果指標	地域を学ぶ副教材の作成						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	継続	495		
事業内容・成果	市内小学校3年生（195人）、市内中学1年生（173人）に配付し、授業で活用することで、郷土を誇り、ふるさとを愛する西海市の子供の育成に努めた。					評価	A
課題・方向性	自然、環境、歴史、行財政等、最新の情報を収集して、副教材を再編集し、内容の充実を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進					
施策の方向性	各校の特色に応じた「西海学」の展開					
成果指標	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	100%	84%	85%	継続	662	
事業内容・成果	各小学校の実情や地域の特色に応じて内容や実施学年を工夫し、ふるさとについて学ぶ学習を展開し、それに対する支援を行った。小学校13校中、11校が実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3月に計画していた西海学の実施ができなかった2校も社会科見学として西海市内の施設見学を行った。				評価	A
課題・方向性	各小学校の創意工夫による「西海学」の展開により、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深められるようにする。令和2年度は、事業内容を再確認し、全小学校で実施できるようにする。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	読書活動の推進						
施策の方向性	平日の読書習慣の確立						
成果指標	平日の読書時間の割合（１日30分以上）						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	小６：30.2% 中３：34.2%	小６：37.2% 中３：31.3%	小６：39.0% 中３：33.7%	小６：70% 中３：50%	—		
事業内容・成果	学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置による小・中学校の読書活動の推進、朝の読書活動の定着等により、小学校の読書時間の割合は増加傾向を示した。					評価	B
課題・方向性	図書主任、学校図書館司書等への指導を通して、ブックトークや読み語り等を通して本の世界を広げ、家庭読書の啓発を図っていく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	読書活動の推進						
施策の方向性	蔵書率の充足						
成果指標	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	小：119.4% 中：99.1%	小：118.9% 中：106.4%	小：130.2% 中：104.3%	小：100% 中：100%	2,825		
事業内容・成果	蔵書率100%を超えた学校から、古い図書の廃棄作業を進め児童生徒に必要な図書の整備を図っており、蔵書率が小学校においては平均で130.2%、中学校においては104.3%となった。					評価	A
課題・方向性	図書の計画的な廃棄と新規購入を行い、読書活動の推進を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	読書活動の推進						
施策の方向性	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実						
成果指標	学校図書司書等の配置人数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	10人	10人	10人	継続		8, 148	
事業内容・成果	市内小・中学校の読書活動推進のため、中学校に学校図書館司書を配置し、読書に関する指導や環境づくりを行うとともに、近隣小学校を巡回し中学校と同様の指導等を行った。雪浦小学校については、大瀬戸中学校との兼務として、学校図書館運営の充実を図った。					評価	A
課題・方向性	学校図書館司書の定期的な研修会（月 1 回）を通して、図書館教育への理解を深め、読書活動のより一層の充実を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	不登校等の子どもへの支援						
施策の方向性	教育相談体制の整備						
成果指標	不登校児童生徒の改善率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	50%	48%	33%	95%	3, 079		
事業内容・成果	心の教室相談員を本土部 4 中学校に配置するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制を整備し、不登校に対する初期対応及び自立支援を充実させている。不登校の生徒が心の教室に別室登校したり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの関わりから改善傾向が見られたりしている。					評価	B
課題・方向性	不登校の要因が多様化し、学校の問題だけでなく、本人や家庭に要因があることが多く、長期化しやすい。今後も、本人や家庭のケア、専門機関との連携による支援等、積極的に相談体制を充実させていく。目標値が95%に設定されているが、100%を目指して取り組んでいきたい。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	不登校等の子どもへの支援						
施策の方向性	「適応指導教室」の充実						
成果指標	適応指導教室指導員の研修の受講回数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	2回	3回	3回	3回		1, 978	
事業内容・成果	大島地区に開設している「適応指導教室」における指導・支援の向上を図るため、指導員の研修を充実させた。令和元年度、指導員は、長崎県教育委員会主催の研修1回と長崎県教育センター主催の研修2回を受講した。					評価	A
課題・方向性	今後も、担当者が積極的に研修を受講し、指導・支援の向上を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	健康・安全教育の推進						
施策の方向性	健康教育の推進						
成果指標	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	小：98.7% 中：96.8%	小：98.1% 中：98.5%	小：99.1% 中：98.2%	小：100% 中：100%	—		
事業内容・成果	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合は高い水準を保っている。					評価	A
課題・方向性	「は・あ・と・ふ・る運動」とつなげながら家庭と連携し、朝ご飯を食べて登校する児童・生徒100%を目指す。 西海小学校を研究指定校にして、P T Aと連携した取組を推進する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	健康・安全教育の推進						
施策の方向性	健康教育の推進						
成果指標	う歯罹患者の割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	小：17.2% 中：39.1%	小：14.2% 中：33.8%	小：10.7% 中：30.7%	小：16% 中：35%	—		
事業内容・成果	う歯罹患者の割合は、目標値よりも低く、小学校では改善している。					評価	A
課題・方向性	市の保健部局等と連携し、フッ化物洗口の取組を支援する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	健康・安全教育の推進						
施策の方向性	安全教育の推進						
成果指標	避難訓練の実施率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	100%	継続	—		
事業内容・成果	西海北小学校を拠点校とした研究を市内全体に示すことができた。 警察・消防等の関係機関と連携し、各学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を実施した。					評価	A
課題・方向性	学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を推進し、関係機関と連携した安全教育に努める。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校体育の充実と体力の向上						
施策の方向性	児童生徒の体力の向上						
成果指標	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	46.70%	26.6%	55.9%	50%	—		
事業内容・成果	持久力や筋力については、多くの学年で全国平均を上回っている。柔軟性については、関連する補強運動等を体育の授業の準備運動に行うことで改善が見られている。					評価	A
課題・方向性	(H30年度までは、全学年の調査報告であったが、R元年度から、調査報告の対象学年が小5と中2とされた。) 上体起こしや長座体前屈の種目で全国平均を下回っているため、継続した取組が必要であり、児童生徒の体力の分析や実態に応じた指導計画及び実践を行う。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校体育の充実と体力の向上						
施策の方向性	部活動指導者の指導力の向上						
成果指標	部活動指導者講習会の実施						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	0回	2回	2回	2回		—	
事業内容・成果	部活動指導や社会体育の指導に携わる者が、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するための部活動等の指導と環境づくりのあり方についての講習を受け、指導力及び資質を高めた。1月はアスレティックトレーナーを講師に招聘し、講義・実技指導を行った。2月には管理栄養士を講師に招聘し、スポーツ栄養学についての講義を行った。					評価	A
課題・方向性	令和2年度は、アスレティックトレーナーとメンタルトレーナーを招聘し研修会を実施し、引き続き、教職員、部活動指導員及び社会体育の指導に携わる者の指導力及び資質向上を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	安全な食材の確保						
成果指標	西海市産の農産物の使用率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	59.50%	67.8%	66.7%	70%	—		
事業内容・成果	地元の食材を有効に活用することができた。しかし、農作物の確保は天候等に左右されるため、継続が難しい場合もある。					評価	B
課題・方向性	安全な食材を確保するため生産者等と協議し、西海市産の農産物の使用を推進する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	食育の推進						
成果指標	学校における食育に関する行事の実施率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	85.70%	72.2%	78.9%	100%	—		
事業内容・成果	学校において、全職員で食育を推進し、児童生徒が食に関する理解を深めるような実践を行った。 地元食材や県産品を使った献立の工夫が見られた。					評価	B
課題・方向性	家庭と地域が連携した食に関する指導を充実させ、食生活を向上したり、食に関する関心を高める取組を継続する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	施設、設備の充実						
成果指標	学校給食施設の大規模改修施工箇所（累計）						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	1箇所	0箇所	0箇所	2箇所		－	
事業内容・成果	施設内の老朽化による修繕や備品等の購入は行ったが、大規模改修は行わなかった。					評価	C
課題・方向性	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画に基づき大規模改修について検討する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	学校給食施設の適正化						
成果指標	学校給食共同調理場の適正化						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	未策定	策定	策定済	計画策定	－		
事業内容・成果	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画に基づき、財源について検討を行い、防衛交付金を活用することとして議会へ報告を行った。					評価	A
課題・方向性	今後は市長部局と連携して事業を実施していく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	教職員研修の充実						
施策の方向性	定期研修会の充実						
成果指標	定期研修会での充実度割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	90%	—		
事業内容・成果	各省令主任の研修会において、学力向上に係る授業実践について考えたり、各校の取組についての情報交換をしたりすることで、担当する校務分掌や学校の活性化につなげることができた。					評価	A
課題・方向性	各省令主任、養護教諭、栄養教諭及び特別支援コーディネーター等を対象とした定期研修会を、教育課題や学校の実態に応じて更に充実させていく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	教職員研修の充実						
施策の方向性	選択制研修会の充実						
成果指標	選択制研修会の実施回数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	4回	5回	5回	5回	—		
事業内容・成果	夏季休業中に、教職員の指導力や資質の向上を目的として、選択研修等を5回開催した。全体研修では「学びの土台づくり」の講演会を、選択研修では「特別支援教育」「保健指導」「メディア安全指導」を実施した。また、希望者を対象に「外国語・外国語活動研修」も実施した。				評価	A	
課題・方向性	本市の教育課題に対応する研修会を実施する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	校内研修の推進						
施策の方向性	校内研修の充実						
成果指標	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	52回	75回	60回	50回	—		
事業内容・成果	各学校の研究内容に応じて指導主事を36回派遣し、指導助言を行った。また、学校訪問において、指導主事及び教科等指導員による指導助言を延べ24回実施した。					評価	A
課題・方向性	指導主事や教科等指導員を派遣し、校内研修や学校訪問等で指導助言を行い、教職員の指導力向上を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	校内研修の推進						
施策の方向性	研究指定校の支援						
成果指標	研究指定校数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	5校	6校	6校	6校	750		
事業内容・成果	研究指定校を6校指定し、各校における研究を深めた。また、研究の成果・課題を市全体で共有できるように、3校において研究発表会を開催した。					評価	A
課題・方向性	教育課題に対応した研究を行う研究指定校に対する支援を充実し、研究を深めるとともに、その成果・課題を市全体で共有し、各学校の教育力を高める。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼・保・小連携の推進					
施策の方向性	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進					
成果指標	幼・保・小の教職員間の連携の実施割合					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	※法改正に伴い「認定こども園」を事業内容等へ追加した。 幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の教職員同士の情報交換 や引継ぎ、行事での交流等を小学校単位で実施した。				評価	A
課題・方向性	幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の職員同士の情報交換や 交流学習を推進し連携を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼・保・小連携の推進					
施策の方向性	幼・保・小の教職員の合同研修の機会の充実					
成果指標	幼・保・小の教職員合同研修の実施回数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	1回	継続	－	
事業内容・成果	※法改正に伴い「認定こども園」を事業内容等へ追加した。 令和元年度は、特別支援教育研修会を幼・保・認可・小・中・高合同で開催し、異校園種間での情報交換を充実させることができた。				評価	A
課題・方向性	幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員が参加できるような体制づくりや、共有すべき内容について研究し、実施に向けた準備を今後も継続する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進						
主要事業	幼児教育への支援						
施策の方向性	教職員の資質向上に向けた研修体制確立						
成果指標	研修会の年間実施回数（回）						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	0回	0回	2回	1回	－		
事業内容・成果	幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員の資質向上研修について、西九州させば広域都市圏事業「幼児教育センターのサービス提供」を受け、市の担当や幼稚園教職員が年に２回の研修に参加した。					評価	A
課題・方向性	西九州させば広域都市圏事業への参加が教職員の資質向上につながる研修となることを幼稚園・保育所（園）・認定こども園に周知するとともに、参加への支援を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備						
施策の方向性	学びを支援する体制の充実						
成果指標	社会教育講座開設数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	15講座	24講座	24講座	継続	917		
事業内容・成果	各世代のライフステージや現代的課題に対応した学習機会の充実を図るために、各地区に社会教育指導員を配置し、地域に根ざした社会教育講座を実施した。					評価	B
課題・方向性	受講者及び講座の固定化が見られるため、若年層を含む幅広い世代の市民が魅力を感じ受講しやすい学習講座や地域のニーズに応じた学習内容の一層の充実を図ることが必要である。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用					
成果指標	既存社会教育施設整備事業の進捗率					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	年間1施設	年間1施設	年間2施設	28,713	
事業内容・成果	本郷公民館について、経年劣化箇所（外壁、講堂内天井及び床）の改善及び講堂内照明のLED化や耐風圧サッシ取付けを実施し、施設の長寿命化とあわせ、利便性に配慮した施設の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	社会教育施設（公民館及び図書館等）については、経年劣化が著しいため、施設整備計画に基づき、効率的かつ適正な施設の維持管理に努めていく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書館ネットワークの整備						
施策の方向性	図書システム運用の充実						
成果指標	図書館システムの導入						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	2館 3室	2館 3室	2館 3室	継続	4,698		
事業内容・成果	図書館システム導入により、市内全ての図書館蔵書を把握することができている。その結果、市内間における相互貸借数が可能となり市民サービスの向上が図れている。					評価	B
課題・方向性	図書システムを活用した図書館（室）利用について、様々な機会を通じて周知を図り、身近な施設として利用者にとって利便性のある運営を目指す。また、教育委員会内に設置している図書システムサーバーについては、作動状況点検等の適正管理を行っていく。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書館ネットワークの整備						
施策の方向性	クロスねっとを活用したサービスの充実						
成果指標	長崎図書クロスねっとへの検索サービス						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	2館 3室	2館 3室	0館 0室	継続	－		
事業内容・成果	本年度は長崎県立長崎図書館を中心としたクロスねっと（横断検索）が利用できなかったが、市民サービスの低下に繋がらないようカーリル（他サービス）を活用し相互貸借に努めた。				評価	B	
課題・方向性	市内の図書館（室）に蔵書がなくても、従来のクロスねっとだけでなく、カーリルを活用して県内外の図書館との相互貸借サービスが受けられる旨の周知を西海市ウェブサイトや広報誌を通じて行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理					
成果指標	図書館利用者数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	32,879人	35,582人	34,848人	33,500人	－	
事業内容・成果	来館者数の微減はあったが、利用者に親しまれる公立図書館（室）を目指し、館内における季節ごとのレイアウト変更及び周知広報等を含めた事業展開を行った。				評価	A
課題・方向性	今後も利用者の多種多様なニーズに柔軟に対応できるよう、各図書館（室）職員の各種研修に努め、レファレンス機能の充実や周知広報等も含めた事業展開を図っていく。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書サービスの向上						
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理						
成果指標	貸出資料数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	117,254冊	123,666冊	121,422冊	119,000冊	－		
事業内容・成果	各図書館（室）での貸出に限らず、公立図書館（室）から「身近に本を届ける支援サービス」の一環として、学校や幼稚園、保育所等へ移動図書サービスや団体貸出、学級文庫への貸出を実施した。					評価	A
課題・方向性	今後も各図書館（室）の利用者ニーズに対応した選書、読書相談・レファレンス・読み語りを実施し、各館（室）とも地域に応じ幅広い蔵書の充実を図りながら読書環境の提供を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書サービスの向上						
施策の方向性	図書ボランティアの推進						
成果指標	図書ボランティア数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	5人	7人	10人	18人	－		
事業内容・成果	地域に密着した読み語り等の促進に向け、おはなし会やおたのしみ会など図書館でのイベントの際に図書ボランティア活動の周知や募集告知を図った。					評価	B
課題・方向性	読書活動に精通した図書ボランティアを確保するため、継続的に養成講座を開設するとともに、実践活動における体制づくりを構築するための研究を行う必要がある。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	乳児健診時のブックスタート実施率					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	継続	318	
事業内容・成果	子ども読書活動推進計画に基づき、絵本を通じた親子のコミュニケーションの機会の提供や、文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせることにより、読書習慣の醸成を図った。徐々にではあるが絵本や読み語りについて興味を持ち、各図書館（室）職員へ質問する保護者も増えてきている。				評価	A
課題・方向性	今後も、「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、子どもたちの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	子どもの読書活動の充実						
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進						
成果指標	図書館まっりの開催						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	1回	1回	1回	継続	22		
事業内容・成果	年に一度開催している『図書館まつり』において、人形劇や絵本の読み語り、紙芝居などを実施して本の世界に触れる機会や読書に親しむ機会を提供し、着実に参加者が増加している。また、各図書館（室）にて毎月定期的に『おはなし会』等を開催する取組を併せて行った。				評価	B	
課題・方向性	今後も「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、読書の楽しさや本に親しむ機会の提供を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化						
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上						
施策の方向性	自治公民館への支援						
成果指標	自治公民館モデル事業実践館数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	5館	16館	15館	10館	1, 996		
事業内容・成果	本事業により、モデルテーマに沿った自治公民館活動に対し、申請により補助金を交付している。令和元年度は市内自治公民館41館のうち15館が本事業を活用し、伝統文化継承事業等、様々な事業を行った。本事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進できた。				評価	A	
課題・方向性	本事業を活用した取組については、先進的な活動を促すとともに未活用の館にも情報提供することにより、本事業の更なる積極的な活用について周知のための広報を行っていく必要がある。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化						
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備						
施策の方向性	公民館等における生涯学習活動の支援及び学習機会の充実						
成果指標	公民館利用者数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	69,416人	71,572人	64,754人	71,400人	－		
事業内容・成果	各地区に配置している社会教育指導員を中心に、ライフステージに応じた講座や地域の特色を生かした各種講座を開催したが、年度末には新型コロナウイルス感染拡大防止もあり前年度から利用者減となった。					評価	A
課題・方向性	今後も、学習者ニーズや住民の要求課題、地域課題を把握しながら、魅力のある多様な学習講座の展開を図る。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化					
成果指標	公民館職員等の年間研修機会回数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2回	2回	2回	継続	42	
事業内容・成果	県公民館大会が悪天候により中止となったが、九州地区の公民館大会へ参加し、県内外の公民館関係との広域的な情報交換を行いながら研鑽を図った。また、県主催の公民館職員研修会やスキルアップ研修等の開催周知を行い、研修の機会提供を行った。				評価	B
課題・方向性	今後も、自主的な公民館活動及び活性化を目指すための人材育成として、公民館役職員を対象にした研修機会や情報提供を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化						
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備						
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化						
成果指標	公民館連絡会議の開催						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	1回	1回	1回	継続	—		
事業内容・成果	公立公民館及び各地区公民館長・主事・書記等、公民館役員の連携強化を図るため、連絡会議を開催し、各公民館の事業報告及び事業計画を提示しながら意見交換を行った。また、今後の公民館のあり方を考えることを目的として、実践事例を交えながら、県生涯学習課職員による講話を行った。				評価	B	
課題・方向性	今後も、市内各公民館における活性化策及び課題解消の参考となるよう、情報共有及び情報交換ができる場の提供を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	社会における人権教育の推進					
施策の方向性	人権教育・啓発の推進					
成果指標	人権・同和教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	531人	346人	396人	558人	400	
事業内容・成果	「西海市人権のつどい」で、人権・同和問題に関する学習の機会を提供し、人権尊重の地域づくりを行った。また、県内でブロック別に開催される研修を本市で実施し、多くの関係者が研鑽をつむことができた。				評価	B
課題・方向性	今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	学校教育課	
主要施策	人権・同和教育の推進						
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進						
施策の方向性	人権・同和教育、平和教育の推進						
成果指標	人権集会、平和集会の実施校の割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	100%	継続	—		
事業内容・成果	全小・中学校で実施した。人権に関する学習では、高齢者とのふれあい集会や佐世保人権擁護委員協議会の人権教室を取り入れた集会等を行った。平和学習においては、原爆資料館や被爆遺構の見学、被爆者等の講演などを行った。					評価	A
課題・方向性	今後も取組を継続し、全小・中学校で確実に実施する。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	学校教育課
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり					
成果指標	いじめ解決の割合					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	継続	－	
事業内容・成果	各校の教職員をはじめ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員と連携し、早期解決にむけて適切に対応した。また、定期的なアンケートの実施で児童生徒の実態把握を行った。				評価	A
課題・方向性	人権教育及び児童生徒理解に関する研修を推進し、いじめの早期発見・早期解決に向けた体制づくりを継続する。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上						
主要事業	保護者への子育て支援						
施策の方向性	保護者への家庭教育の支援						
成果指標	家庭教育学級の開催数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	13学級	13学級	15学級	20学級	230		
事業内容・成果	各PTA及び保護者会が主催する『家庭教育講座』に対し、講師謝金等の助成や講師選定の助言等を行い、家庭教育のあり方について、「親学び」の機会を提供した。					評価	B
課題・方向性	今後も、PTA及び保護者会と連携を図りながら、家庭教育のあり方について学ぶ機会（講座・学級）を提供する。また、本事業の活用推進を図るため、市内各小中学校PTA、幼稚園及び保育所（園）保護者会に対し周知を行う。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	家庭教育講座開設					
成果指標	公民館における家庭教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	4講座	3講座	3講座	59	
事業内容・成果	地区社会教育講座において、料理教室やガーデニング教室など親子で参加できる講座を開設し、家庭教育について学ぶ機会を提供した。				評価	B
課題・方向性	地域ニーズや社会情勢の把握や各地区における社会教育講座との連携を視野に入れながら、公民館における家庭教育講座の開設について検討を行う必要がある。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上						
主要事業	P T A活動の活性化						
施策の方向性	P T A活動の支援						
成果指標	P T A研究大会及び研修会等の開催						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	3回	5回	4回	継続	1, 505		
事業内容・成果	西海市P T A連合会が主催し、会員間の連携・融和や資質向上と学校教育の充実・促進を図ることを目的とした会員研修会や各専門部主催の研修を開催し、会員相互の情報共有が図られた。2月に活動推進研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。					評価	B
課題・方向性	今後も、西海市P T A連合会が開催する研修会等への参加をはじめ、P T Aの組織運営がスムーズに進むよう支援を行う。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成				
主要事業	青少年関係団体の活性化				
施策の方向性	青少年健全育成活動の支援				
成果指標	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数				
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	3回	4回	7回	継続	282
事業内容・成果	西海市青少年健全育成大会や大鍋まつり、各地域でのイベントにおいて、「は・あ・と・ふ・る運動」や「ココロねっこ運動」の啓発活動を実施した。				評価 A
課題・方向性	支部活動の活性化を図りつつ、今後も青少年健全育成を推進するため、関係団体と連携・情報共有を図りながら事業を展開する。				

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	指導者育成の支援					
成果指標	指導者研修会の開催					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2回	0回	0回	継続	－	
事業内容・成果	市内単位子ども会に対し、九州地区及び長崎県ジュニアリーダー研修会等の情報提供を行ったが、参加者はいなかった。また、市内で指導者研修会は実施していないが、長崎県ココロねっこ指導者研修会には市内から4名参加した。				評価	C
課題・方向性	これまでは単なる情報提供に留まっていたが、今後は、提供範囲の拡大を含め、対象者の積極的かつ自発的な参加を促すような取組が必要である。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成						
主要事業	青少年の交流活動の推進						
施策の方向性	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）						
成果指標	子ども体験活動事業申請対象件数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	21件	19件	22件	26件	3, 207		
事業内容・成果	市民団体等が次代を担う子どもの健やかな成長を育むことを目的として行う事業（自然体験・科学体験・文化活動等）に対し、21件の助成を行った。				評価	B	
課題・方向性	今後も自然体験や文化活動等を通して、本市の次代を担う子ども達の健やかな成長を育むため、本事業の積極的な活用について、幅広い周知活動を展開する。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の交流活動の推進					
施策の方向性	交流及び体験活動の機会の提供					
成果指標	青少年を対象にした体験・交流事業					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	2回	2回	2回	—	
事業内容・成果	西彼青年の家主催事業である「子ども遊楽塾」に対し、職員の派遣協力を14名（延べ数）行った。また、市内単位子ども会へ本事業の情報提供を行い、市内児童から22名の参加があった。				評価	A
課題・方向性	今後も関係団体と連携・協力を図りながら、青少年の交流活動の更なる推進及び支援体制づくりに努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	有害情報対策の推進					
成果指標	有害図書類販売店舗等への立入調査への協力者数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	27人	29人	26人	継続	68	
事業内容・成果	「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」にあわせ、関係団体（機関）の協力を得ながら、有害図書类等販売店舗（コンビニ・書店・携帯電話販売店等）への立入調査を実施した。				評価	A
課題・方向性	今後も、有害図書类等販売店舗への立入調査と白ポストによる有害図書类等の回収事業を継続し、青少年の健全育成のために有害環境の浄化に努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年を有害環境から守る取組					
施策の方向性	メディア安全指導員の養成と利用促進					
成果指標	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1人	4人	4人	5人	－	
事業内容・成果	市内各学校から講演依頼があった際、メディア安全指導員を派遣し、情報メディアの適切な利用について講話を行っている。令和元年度は市内小中高校や団体等へ4回派遣を行った。				評価	B
課題・方向性	市内の資格取得者は4名であり、県内他市町と比較すると割合は低い状況にあるため、メディア安全教育の更なる普及を推進するため、資格取得支援を継続する必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	学校教育課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現						
主要事業	安全確保を図る地域ボランティアの育成						
施策の方向性	地域ぐるみの安全確保対策						
成果指標	関係機関やP T A等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	100%	継続	－		
事業内容・成果	学校及び保護者、地域ボランティアとの連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制の充実を図った。					評価	A
課題・方向性	子供が安心して学校や地域での生活が送れるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	学校の適正配置の促進					
施策の方向性	学校の適正配置の推進・統合に伴う環境整備の推進					
成果指標	小学校数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	14校	13校	13校	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	532	
事業内容・成果	大崎地区（大島西小・大島東小・崎戸小）については、学校のあり方を考える懇談会から審議会へ移行し、大崎地区小学校適正配置（学校統合）実施計画において、小学校3校を廃止し、新設校1校を令和4年4月に開校することとした。				評価	B
課題・方向性	大崎地区においては、審議会に分科会を設置し、令和4年4月開校に向けた協議を進めて行くとともに、大瀬戸地区においては、地域及び保護者の理解が得られていないことから、子どもたち並びに地域にとって望ましい学校のあり方について引続き検討する。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	社会教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	放課後の子どもたちの居場所づくり					
施策の方向性	放課後子ども教室の開催、土曜学習の開催					
成果指標	人材バンク登録者数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	30人	39人	42人	継続	1	
事業内容・成果	放課後及び土曜日等に子どもたちが安全で健やかに過ごせるよう学校の 余裕教室等を活用して居場所を確保し、人材バンク登録者をはじめとする 地域住民等の参画を得て、放課後子ども教室及び土曜学習の充実に努 めた。 学校の余裕教室を活用した『放課後子ども教室』は、対象児童を限定し たが延べ2,398人の児童が参加した。（内訳：西海東小学校827名、大島 東小学校1,571名） また、市内各施設を活用した『土曜学習』は、延べ318名の児童が参加し た。（内訳：キッズ英会話コース233名、ふるさと体験発見コース85名）				評価	A
課題・方向性	放課後子ども教室は小学校及び図書館の余裕教室を活用した事業を行っ ているが、実施場所が手狭で子どもたちの受入人数に限界があるため、 近隣の公共施設等の活用や対象人数を検討し、事業の継続に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	奨学資金制度の拡充					
施策の方向性	奨学資金制度の充実					
成果指標	西海市奨学生の新規認定者数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1人	12人	15人	10人	－	
事業内容・成果	令和元年度新規奨学生として15名を決定し8,400千円の貸付を行った。併せて、昨年度からの継続者9名に対し5,580千円の貸付を行った。 また、償還対象者のうち16名から2,597千円の返還があった。				評価	A
課題・方向性	貸付対象者が増加してきていることから、適正な基金の運用や債権管理に努めていく必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造					
成果指標	学校校舎の大規模改造					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	19校／43校	25校／43校	25校／43校	31校／43校	135, 921	
事業内容・成果	西海東小学校大規模改修工事として、外壁・建具・内装等、老朽化が著しい箇所の第Ⅰ期改修工事を行った。引き続き繰越し事業としてⅡ期工事を行う。				評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい学校校舎の内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁並びに屋上防水改修に向け予算確保に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校施設の改修						
施策の方向性	屋外運動場の改修						
成果指標	屋外運動場の改修						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	3校／9校	3校／9校	3校／9校	6校／9校	－		
事業内容・成果	子どもたちが等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。					評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋外運動場の改修に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校施設の改修						
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造						
成果指標	屋内運動場の大規模改造						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	6校／26校	9校／26校	9校／26校	16校／26校	—		
事業内容・成果	老朽化が著しい屋内運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。					評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋内運動場の内部の改修、外壁及び屋上防水の改修、並びにトイレの洋式化等への改修に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校の温暖化対策					
成果指標	学校の温暖化対策					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0校／12校	3校／12校 (0校/17校)	3校／12校 (17校/17校)	6校／12校 (17校/17校)	221, 413	
事業内容・成果	学校の温暖化対策として、市内全小中学校の普通教室に空調設備を設置した。				評価	A
課題・方向性	令和元年7月から市内小中学校の特別教室の空調設備工事を整備しており、引き続き継続して安全で安心な望ましい教育環境を確保を目指す。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校情報通信技術の整備						
施策の方向性	教育ネットワークの構築						
成果指標	教育ネットワークの構築						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	0%	0%	0%	100%	—		
事業内容・成果	西海市が令和３年度末までを整備期間として実施している「西海市光のみち構想（全市内光ファイバー化事業）の進捗を確認するとともに、教育ネットワーク構築へ向けた情報収集に努めた。					評価	B
課題・方向性	全市内光ファイバー化事業の進捗にあわせて、教育委員会と各学校間のネットワークの整備や校務支援システム、グループウェアの導入、学校における情報セキュリティーの強化に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	教職員住宅の整備					
施策の方向性	教職員住宅の整備					
成果指標	教職員住宅の整備					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	90戸	97戸	95戸	102戸	6, 106	
事業内容・成果	老朽化が著しい住宅 1 戸を解体し、教職員住宅の適正な管理が図られ、環境の維持、安全確保ができた。				評価	B
課題・方向性	教職員住宅が不足している地域に新たに住宅を整備するとともに、老朽化が著しい住宅を解体し、新築、改修するなど、引き続き住宅の整備に向けた予算確保に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	教職員住宅の整備						
施策の方向性	教職員住宅の水洗化						
成果指標	教職員住宅水洗化率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	68.90%	83.18%	83.02%	85%	決算額については、教職員住宅の整備へ計上		
事業内容・成果	土地の返還に伴い、水洗化済みの住宅1戸を解体したため、水洗化率が減少した。					評価	B
課題・方向性	水洗化が進んでいない教職員住宅について、新築、改修の機会を捉えるとともに、水洗化の推進に向けた予算確保に努める。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出					
施策の方向性	芸術と触れ合う機会の創出、文化施設の整備・活用					
成果指標	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）					
	現況値 （H27年度）	H30年度	R元年度	中間目標値 （R3年度）	決算額 （千円）	
	0回	1回	1回	1回	－	
事業内容・成果	西彼杵高等学校と共催で開催している「西彼杵高校文化部発表会 ～地域と共に歩む～」は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったが、西海市文化協会の主催事業の開催を支援し、大瀬戸コミュニティセンターで県展移動展を開催するなど、市民が優れた文化・芸術に触れ合う機会を提供することができた。				評価	B
課題・方向性	今後も文化協会など関係団体と連携して、優れた文化・芸術に関するイベントを開催し、文化の振興に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進						
主要事業	文化団体の交流活動の促進						
施策の方向性	文化活動の支援						
成果指標	全市的な文化祭等の開催回数及び入場者数（年間）						
	現況値 （H27年度）	H30年度	R元年度	中間目標値 （R3年度）	決算額 （千円）		
	3回 2,154人	5回 2,300人	5回 1,715人	3回 2,370人	—		
事業内容・成果	西海市文化協会主催による主要事業として、第9回西海市文化祭（舞台発表・6月）、第2回さいかいミュージックフェス（9月）、第9回西海市文化祭（展示・11月）、西海市民音楽祭2019（12月）、第3回新春踊り初め（2月）の開催を支援した。				評価	B	
課題・方向性	文化協会が主催する事業を支援し、市民の文化活動の活性化を推進する。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進						
主要事業	文化団体の交流活動の促進						
施策の方向性	文化活動の支援						
成果指標	西海市文化協会への加入促進						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	560人	518人	509人	600人	6, 583		
事業内容・成果	芸術に触れ合う機会の一環として西海市文化協会と共催で県展移動展を開催した。文化協会への加入を促進するため、子ども対象の「夏休み子供芸術体験講座」や高齢者対象の芸術公開体験「出前講座」の開催、広報紙・機関誌発行などの取組を支援し、協会の魅力向上に努めた。				評価	B	
課題・方向性	高齢化等により会員数が減少しているため、会員増加のための文化協会の各種事業を支援する。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用						
主要事業	文化財の公開・研究						
施策の方向性	歴史・文化の拠点づくり						
成果指標	(仮称) さいかい市民ミュージアム（博物館）の創設						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	検討委員会 からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	ミュージアム 準備室（仮） の設置 50%	5, 962		
事業内容・成果	教育委員会に専門職員である学芸員を1名配置し、本市の歴史等の調査・研究を進め、その成果を「大瀬戸歴史民俗資料館企画展」や3回の「ふるさと発見講座」などで、市民に発信した。					評価	B
課題・方向性	歴史・文化の拠点となる施設を設置するためには、これまでの調査・研究の成果を含め、市民への啓発的な活動が今後必要である。また、今ある本市の魅力を市ウェブサイトや市内3箇所の歴史民俗資料館を中心に市内外に広く発信していく。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用						
主要事業	文化財の保存・活用						
施策の方向性	市民への啓発						
成果指標	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	1,000冊 作成	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	34		
事業内容・成果	新たに西海市の文化財に指定された「横瀬郷の靈魂塚」を西海市の広報誌で紹介し、『西海市の文化財』の改定版を発行するため、情報収集を継続した。また、「さいかいふるさと発見講座」を全3回実施し、95名の参加があった。					評価	B
課題・方向性	『西海市の文化財』を発行後、新たに指定・登録された文化財があるため、改訂版を発行するための情報収集を継続する。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	保護・活用方法の検討					
成果指標	文化財の調査・研究着手件数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2件	2件	2件	3件	3, 593	
事業内容・成果	面高地区の農地基盤整備事業に伴う試掘調査を実施した。試掘調査の結果、遺物包含層は確認されなかった。また、崎戸炭鉱の歴史を物語る重要な遺構である「福浦坑巻揚機庫跡」の建物と周辺の土地を買収し、保存を図った。				評価	A
課題・方向性	現在取組んでいる調査・研究について、市民の認識向上のために継続して情報を発信していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	伝統文化等の記録・保存件数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	13件	13件	13件	15件	—	
事業内容・成果	令和元年度中の伝統文化等の新規記録・保存は実施していない。現在活動している郷土芸能団体等へ面談や電話聞き取りによる活動状況の情報収集に努め、郷土芸能等の映像記録の制作や支援制度創設の検討を行った。				評価	B
課題・方向性	少子・高齢化等の影響で伝統芸能の継承が困難となりつつある地域がある。伝統芸能については、映像記録の制作や必要な道具の購入など保持団体の状況に応じた支援に努めるとともに、郷土芸能等の映像記録を活用して、西海市ウェブサイト等で市民への周知に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用						
主要事業	地域伝統文化の継承						
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上						
成果指標	認定文化財の登録件数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	0件	0件	1件	2件	—		
事業内容・成果	文化財として未指定の各地区にある文化遺産を継承すべく、西海市地域遺産に成り得る遺産等を西海市文化財保護審議会において協議し、「横瀬郷の霊魂塚」を西海市有形文化財に指定した。					評価	B
課題・方向性	西海市地域遺産について、市民間での認知度向上を図り、補助制度の創設について検討を進める。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	生涯スポーツの推進						
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり						
成果指標	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）						
	現況値 （H27年度）	H30年度	R元年度	中間目標値 （R3年度）		決算額 （千円）	
	13回	34回	35回	20回		131	
事業内容・成果	令和元年度は、大瀬戸プールにおいて小学生を対象とした水泳教室、幼児を対象とした体操教室を実施した。加えて地域の要請に応じてスポーツ推進委員と合同で出前講座を行った。					評価	A
課題・方向性	出前講座等イベントの参加者に競技者となってもらうことが課題である。スポーツ推進委員、体育協会と教育委員会が連携し、生涯スポーツとしての競技者を増やしていく必要がある。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	総合型地域スポーツクラブの設置と運営支援					
成果指標	総合型地域スポーツクラブ設立団体数					
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1 団体 (累計)	1 団体 (累計)	1 団体 (累計)	2 団体 (累計)	—	
事業内容・成果	現在大瀬戸地区に 1 団体設置し、陸上競技を中心に活動を行っている。西海市体育協会協力のもと、春季・冬季計 2 回のクロスカントリー大会に取り組んだ。活動種目の増加について検討を行ったが至らなかった。				評価	C
課題・方向性	総合型クラブについては、体育協会の単協組織やスポーツ少年団などの組織が存在し、総合型クラブを推進していくメリットがあまり感じられないなどの意見がある。体育協会やスポーツ推進委員と連携して新たな総合型クラブの設置を検討していく必要もある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	生涯スポーツの推進						
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり						
成果指標	アシスタントマネージャーの育成数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	2人	2人	2人	3人		－	
事業内容・成果	令和元年度は、アシスタントマネージャー養成講習会の受講者はいなかった。また、上級資格のクラブマネージャー養成講習会についても講習会場が東京などの都市圏のみでの開催となっているため参加者がいなかった。					評価	C
課題・方向性	総合型クラブの設置支援と併せて育成支援を検討する必要がある。アシスタントマネージャー養成講習会は、各県独自の開催が可能であるが、長崎県では開催されていないため、有資格者の増加を目指すためにも、長崎県独自の養成講習会の開催を長崎県体育協会へ要望していく必要がある。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	スポーツ指導者の育成						
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上						
成果指標	スポーツ指導者講習会						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	0回	3回	2回	2回		50	
事業内容・成果	スポーツ推進委員の資質向上のため、県実技講習会、県女性委員会主管研修会への派遣を行った。					評価	B
課題・方向性	生涯スポーツの推進の観点から全世代が行える競技を推進していく必要がある。スポーツ推進員を中心とした軽スポーツの普及に力を入れていく。						

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	スポーツ指導者の育成						
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上						
成果指標	スポーツ指導者講習会への派遣回数（年間）						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	0回	2回	2回	2回	289		
事業内容・成果	スポーツ推進委員協議会主催の県、九州地区の研究大会へ委員の派遣を行い、委員の資質向上を図った。					評価	B
課題・方向性	西海市スポーツ推進委員会と西海市体育協会との連携を密にし、連携した事業を行う必要がある。様々な年齢層、競技層を活性化できる高いレベルの指導者の育成が必要といえる。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	スポーツ指導者の育成						
施策の方向性	「スポーツリーダーバンク制度」の確立						
成果指標	西海市スポーツリーダーバンク登録者数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	0人	0人	10人	15人	－		
事業内容・成果	市民の体育・スポーツ活動の普及振興を図るため、スポーツリーダーバンク制度を導入するために必要なスポーツリーダーバンク設置要綱を制定した。また、スポーツリーダーの募集及び登録について、スポーツ推進委員会、スポーツ関係者意見交換会や広報誌等で周知を行なった。				評価	B	
課題・方向性	スポーツリーダーを活用する団体があるのかを把握する必要がある。スポーツリーダーの存在を周知し、スポーツリーダーの募集とともに活用を行う依頼者を増やしていく必要がある。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	競技スポーツの推進						
施策の方向性	競技力向上を目指した各種講習会等の開催						
成果指標	西海市体育協会加盟団体数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	18団体	21団体	21団体	継続		－	
事業内容・成果	構成団体21団体、会員数2,096人である。					評価	B
課題・方向性	西海市の人口が減少する中で、未加入の競技団体への加入を促進し、競技人口をいかにして持続していくかが課題である。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	競技スポーツの推進						
施策の方向性	上位大会出場者への支援						
成果指標	県民体育大会参加者数（年間）						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	240人	228人	256人	300人		－	
事業内容・成果	県民体育大会に、西海市体育協会を通じて256名の選手を派遣した。					評価	B
課題・方向性	人口減少とともに競技人口が減少している状況にある。西海市体育協会と連携し、競技人口の拡充を図り、競技力の向上を図る。						

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実						
主要事業	スポーツ施設の整備充実						
施策の方向性	スポーツ施設の整備						
成果指標	体育施設整備進捗率						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)		決算額 (千円)	
	22%	30%	40%	50%		49,452	
事業内容・成果	整備計画に基づき老朽化した大島武道館の屋根の改修、大瀬戸総合運動公園プールの屋内鉄骨の塗装を行ない、利用者の利便性を向上させた。					評価	A
課題・方向性	施設の老朽化が激しく大規模改修を伴う修繕が必要となってきた。廃止も含めて体育施設整備計画を見直し、年次計画で整備充実を図る。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実						
主要事業	スポーツの推進体制づくり						
施策の方向性	情報提供の充実						
成果指標	スポーツ情報の提供（年間）						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	12回	8回	21回	継続	－		
事業内容・成果	市広報に18回、西海市ウェブサイトにて3回掲載を行った。 七釜鍾乳洞ロードレース大会の周知については、レース計測委託業者を通じて専用HPの開設やスポーツ情報サイトにて周知を行った。					評価	A
課題・方向性	広報掲載となると、イベント情報や大会結果の掲載に遅れが生じてしまい旬な情報の周知が難しいため、西海市ウェブサイト上のSaikaiブログ等を使い早めの情報周知に努めていきたい。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実						
主要事業	スポーツの推進体制づくり						
施策の方向性	関係機関との連携強化						
成果指標	スポーツ関係情報交換会開催回数						
	現況値 (H27年度)	H30年度	R元年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	0回/年	1回/年	1回/年	1回/年	－		
事業内容・成果	西海市のスポーツ関係者（指導者、競技者、保護者）とのスポーツの現状について意見交換を行った。 小学生社会体育と中学校の部活動等について活発な意見交換が行われ、現状と課題に関する情報の共有化を図った。				評価	A	
課題・方向性	小・中学生のスポーツ活動についての問題が多く提起されている。本市だけで解決できない学校教育上での課題が多くあることから、学校とも協調しながらスポーツ振興が図られるような取組みが必要である。						

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書一覧表

重点 施策	主要施策	主要事業	施策の方向性	成果指標	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	評価	R元年度	評価	中間目標値 (R3年度)	ページ	
生きる力をはぐくむ学校教育の実現	能力や個性を伸ばす教育の推進	学力の向上	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率	—	100%	100%	A	100%	A	100%	23	上
	能力や個性を伸ばす教育の推進	学力の向上	キャリア教育の推進	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	A	小：100% 中：100%	A	小：100% 中：100%	23	下
	能力や個性を伸ばす教育の推進	学力の向上	家庭での学習時間と内容の充実	塾等を含む平日の家庭学習時間達成率	小低：— 小高：— 中：—	小低：23.4% 小高：61.5% 中：20.5%	小低：21.7% 小高：52.2% 中：34.3%	C	小低：19.9% 小高：56.8% 中：17.3%	C	小低：100% 小高：100% 中：100%	24	上
	能力や個性を伸ばす教育の推進	特別支援教育の充実	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実	研修の充実度	—	99%	99%	A	99%	A	100%	24	下
	能力や個性を伸ばす教育の推進	特別支援教育の充実	校内支援体制の充実	学習支援員配置充足度	85%	100%	100%	A	100%	A	100%	25	上
	能力や個性を伸ばす教育の推進	特別支援教育の充実	相談体制の充実	専門機関との連携回数	11回	12回	12回	A	11回	B	12回	25	下
	能力や個性を伸ばす教育の推進	特色ある学校づくりの推進	グローバル化に対応した英語教育の推進	長崎県学力調査（中学校英語）で60%以上理解している生徒の割合	—	15%	30%	B	—	B	60%	26	上
	能力や個性を伸ばす教育の推進	特色ある学校づくりの推進	コミュニティ・スクールの主旨を生かした学校運営の推進	コミュニティ・スクール設置校数	0校	0校	0校	B	1校	B	2校	26	下
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	道徳教育の充実	道徳教育に関する研修の推進	教職員を対象とした研修会の実施	1回	1回	1回	A	1回	A	継続	27	上
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	道徳教育の充実	研究授業を中心とした授業の質の向上	道徳科の授業研究会を実施している学校の割合	—	100%	100%	A	100%	A	100%	27	下
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	道徳教育の充実	道徳教育の場の充実	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合	—	100%	100%	A	100%	A	100%	28	上
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	ふるさとを学ぶ教育の推進	ふるさとについて学ぶための副教材の充実	地域を学ぶ副教材の作成	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	A	小学校3年生 中学校1年生 に配付	A	継続	28	下
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	ふるさとを学ぶ教育の推進	各校の特色に応じた「西海学」の展開	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合	100%	78%	84%	B	85%	A	継続	29	上
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	読書活動の推進	平日の読書習慣の確立	平日の読書時間の割合（1日30分以上）	小6：30.2% 中3：34.2%	小6：33.0% 中3：21.3%	小6：37.2% 中3：31.3%	B	小6：39.0% 中3：33.7%	B	小6：70% 中3：50%	29	下
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	読書活動の推進	蔵書率の充足	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率	小：119.4% 中：99.1%	小：115.9% 中：94.5%	小：118.9% 中：106.4%	A	小：130.2% 中：104.3%	A	小：100% 中：100%	30	上
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	読書活動の推進	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実	学校図書司書等の配置人数	10人	10人	10人	A	10人	A	継続	30	下
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	不登校等の子どもへの支援	教育相談体制の整備	不登校児童生徒の改善率	50%	33%	48%	B	33%	B	95%	31	上
	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	不登校等の子どもへの支援	「適応指導教室」の充実	適応指導教室指導員の研修の受講回数	2回	3回	3回	A	3回	A	3回	31	下
	健康で安全な学校生活の実現	健康・安全教育の推進	健康教育の推進	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合	小：98.7% 中：96.8%	小：98.1% 中：95.2%	小：98.1% 中：98.5%	A	小：99.1% 中：98.2%	A	小：100% 中：100%	32	上
	健康で安全な学校生活の実現	健康・安全教育の推進	健康教育の推進	う歯罹患者の割合	小：17.2% 中：39.1%	小：13.9% 中：29.6%	小：14.2% 中：33.8%	A	小：10.7% 中：30.7%	A	小：16% 中：35%	32	下

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書一覧表

重点 施策	主要施策	主要事業	施策の方向性	成果指標	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	評価	R元年度	評価	中間目標値 (R3年度)	ページ	
生きる力をはぐくむ学校教育の実現	健康で安全な学校生活の実現	健康・安全教育の推進	安全教育の推進	避難訓練の実施率	100%	100%	100%	A	100%	A	継続	33	上
	健康で安全な学校生活の実現	学校体育の充実と体力の向上	児童生徒の体力の向上	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合	46.7%	35.3%	26.6%	C	55.9%	A	50%	33	下
	健康で安全な学校生活の実現	学校体育の充実と体力の向上	部活動指導者の指導力の向上	部活動指導者講習会の実施	0回	2回	2回	A	2回	A	2回	34	上
	健康で安全な学校生活の実現	学校給食・食育の充実	安全な食材の確保	西海市産の農産物の使用率	59.50%	63.8%	67.8%	B	66.7%	B	70%	34	下
	健康で安全な学校生活の実現	学校給食・食育の充実	食育の推進	学校における食育に関する行事の実施率	85.70%	73.6%	72.2%	B	78.9%	B	100%	35	上
	健康で安全な学校生活の実現	学校給食・食育の充実	施設、設備の充実	学校給食施設の大規模改修施工箇所（累計）	1箇所	0箇所	0箇所	B	0箇所	C	2箇所	35	下
	健康で安全な学校生活の実現	学校給食・食育の充実	学校給食施設の適正化	学校給食共同調理場の適正化	未策定	未策定	策定	B	策定済	A	計画策定	36	上
	教職員の資質の向上	教職員研修の充実	定期研修会の充実	定期研修会での充実度割合	—	100%	100%	A	100%	A	90%	36	下
	教職員の資質の向上	教職員研修の充実	選択制研修会の充実	選択制研修会の実施回数	4回	5回	5回	A	5回	A	5回	37	上
	教職員の資質の向上	校内研修の推進	校内研修の充実	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数	52回	61回	75回	A	60回	A	50回	37	下
	教職員の資質の向上	校内研修の推進	研究指定校の支援	研究指定校数	5校	5校	6校	A	6校	A	6校	38	上
	幼児教育の推進	幼・保・小連携の推進	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進	幼・保・小の教職員間の連携の実施割合	—	100%	100%	A	100%	A	100%	38	下
	幼児教育の推進	幼・保・小連携の推進	幼・保・小の教職員の合同研修の機会の充実	幼・保・小の教職員合同研修の実施回数	1回	0回	1回	B	1回	A	継続	39	上
	幼児教育の推進	幼児教育への支援	教職員の資質向上に向けた研修体制確立	研修会の年間実施回数（回）	0回	0回	0回	B	2回	A	1回	39	下
いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	学習環境の充実	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備	学びを支援する体制の充実	社会教育講座開設数	15講座	25講座	24講座	B	24講座	B	継続	40	上
	学習環境の充実	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用	既存社会教育施設整備事業の進捗率	—	年間1施設	年間1施設	B	年間1施設	B	年間2施設	40	下
	学習環境の充実	図書館ネットワークの整備	図書システム運用の充実	図書館システムの導入	2館 3室	2館 3室	2館 3室	B	2館 3室	B	継続	41	上
	学習環境の充実	図書館ネットワークの整備	クロスねっとを活用したサービスの充実	長崎図書クロスねっとへの検索サービス	2館 3室	2館 3室	2館 3室	B	0館 0室	B	継続	41	下
	学習環境の充実	図書サービスの向上	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理	図書館利用者数	32,879人	33,640人	35,582人	A	34,848人	A	33,500人	42	上
	学習環境の充実	図書サービスの向上	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理	貸出資料数	117,254冊	121,094冊	123,666冊	A	121,422冊	A	119,000冊	42	下

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書一覧表

重点 施策	主要施策	主要事業	施策の方向性	成果指標	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	評価	R元年度	評価	中間目標値 (R3年度)	ページ	
いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	学習環境の充実	図書サービスの向上	図書ボランティアの推進	図書ボランティア数	5人	6人	7人	B	10人	B	18人	43	上
	学習環境の充実	子どもの読書活動の充実	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進	乳児健診時のブックスタート実施率	100%	100%	100%	A	100%	A	継続	43	下
	学習環境の充実	子どもの読書活動の充実	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進	図書館まつりの開催	1回	1回	1回	B	1回	B	継続	44	上
	公民館活動の活性化	公民館を核とした地域教育力の向上	自治公民館への支援	自治公民館モデル事業実践館数	5館	16館	16館	A	15館	A	10館	44	下
	公民館活動の活性化	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備	公民館等における生涯学習活動の支援及び学習機会の充実	公民館利用者数	69,416人	73,327人	71,572人	A	64,754人	A	71,400人	45	上
	公民館活動の活性化	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備	公民館役職員の育成とネットワーク強化	公民館職員等の年間研修機会回数	2回	1回	2回	B	2回	B	継続	45	下
	公民館活動の活性化	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備	公民館役職員の育成とネットワーク強化	公民館連絡会議の開催	1回	1回	1回	B	1回	B	継続	46	上
	人権・同和教育の推進	社会における人権教育の推進	人権教育・啓発の推進	人権・同和教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数	531人	421人	346人	B	396人	B	558人	46	下
	人権・同和教育の推進	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進	人権・同和教育、平和教育の推進	人権集会、平和集会の実施校の割合	100%	100%	100%	A	100%	A	継続	47	上
市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	人権・同和教育の推進	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり	いじめ解決の割合	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	A	小：100% 中：100%	A	継続	47	下
	家庭の教育力の向上	保護者への子育て支援	保護者への家庭教育の支援	家庭教育学級の開催数	13学級	9学級	13学級	B	15学級	B	20学級	48	上
	家庭の教育力の向上	保護者への子育て支援	家庭教育講座開設	公民館における家庭教育講座開設数	－	2講座	4講座	A	3講座	B	3講座	48	下
	家庭の教育力の向上	P T A活動の活性化	P T A活動の支援	P T A研究大会及び研修会等の開催	3回	4回	5回	B	4回	B	継続	49	上
	青少年の健全育成	青少年関係団体の活性化	青少年健全育成活動の支援	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数	3回	4回	4回	B	7回	A	継続	49	下
	青少年の健全育成	青少年関係団体の活性化	指導者育成の支援	指導者研修会の開催	2回	0回	0回	C	0回	C	継続	50	上
	青少年の健全育成	青少年の交流活動の推進	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）	子ども体験活動事業申請対象件数	21件	22件	19件	B	22件	B	26件	50	下
	青少年の健全育成	青少年の交流活動の推進	交流及び体験活動の機会の提供	青少年を対象にした体験・交流事業	1回	2回	2回	A	2回	A	2回	51	上
	青少年の健全育成	青少年の有害環境から守る取組の推進	有害情報対策の推進	有害図書類販売店舗等への立入調査への協力者数	27人	28人	29人	A	26人	A	継続	51	下
	青少年の健全育成	青少年の有害環境から守る取組の推進	メディア安全指導員の養成と利用促進	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数	1人	4人	4人	B	4人	B	5人	52	－

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書一覧表

重点 施策	主要施策	主要事業	施策の方向性	成果指標	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	評価	R元年度	評価	中間目標値 (R3年度)	ページ	
安心して学べる教育環境の構築	安心で望ましい教育環境の実現	安全確保を図る地域ボランティアの育成	地域ぐるみの安全確保対策	関係機関やPTA等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合	100%	100%	100%	A	100%	A	継続	53	上
	安心で望ましい教育環境の実現	学校の適正配置の促進	学校の適正配置の推進・統合に伴う環境整備の推進	小学校数	14校	14校	13校	B	13校	B	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	53	下
	安心で望ましい教育環境の実現	放課後の子どもたちの居場所づくり	放課後子ども教室の開催、土曜学習の開催	人材バンク登録者数	30人	33人	39人	A	42人	A	継続	54	上
	安心で望ましい教育環境の実現	奨学資金制度の拡充	奨学資金制度の充実	西海市奨学生の新規認定者数	1人	9人	12人	B	15人	A	10人	54	下
	安全で快適な教育施設の整備	学校施設の改修	学校校舎等の大規模改造	学校校舎の大規模改造	19校／43校	24校／43校	25校／43校	B	25校／43校	B	31校／43校	55	上
	安全で快適な教育施設の整備	学校施設の改修	屋外運動場の改修	屋外運動場の改修	3校／9校	3校／9校	3校／9校	B	3校／9校	B	6校／9校	55	下
	安全で快適な教育施設の整備	学校施設の改修	学校校舎等の大規模改造	屋内運動場の大規模改造	6校／26校	9校／26校	9校／26校	B	9校／26校	B	16校／26校	56	上
	安全で快適な教育施設の整備	学校施設の改修	学校の温暖化対策	学校の温暖化対策	0校／12校	3校／12校 (0校/18校)	3校／12校 (0校/17校)	A	3校／12校 (17校/17校)	A	6校／12校 (17校/17校)	56	下
	安全で快適な教育施設の整備	学校情報通信技術の整備	教育ネットワークの構築	教育ネットワークの構築	0%	0%	0%	B	0%	B	100%	57	上
	安全で快適な教育施設の整備	教職員住宅の整備	教職員住宅の整備	教職員住宅の整備	90戸	94戸	97戸	B	95戸	B	102戸	57	下
	安全で快適な教育施設の整備	教職員住宅の整備	教職員住宅の水洗化	教職員住宅水洗化率	68.90%	73.58%	83.18%	B	83.02%	B	85%	58	－
地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	文化・芸術活動の推進	文化芸術と触れ合う機会の創出	芸術と触れ合う機会の創出、文化施設の整備・活用	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）	0回	1回	1回	B	1回	B	1回	59	上
	文化・芸術活動の推進	文化団体の交流活動の促進	文化活動の支援	全市的な文化祭等の開催回数及び入場者数（年間）	3回 2,154人	4回 1,450人	5回 2,300人	B	5回 1,715人	B	3回 2,370人	59	下
	文化・芸術活動の推進	文化団体の交流活動の促進	文化活動の支援	西海市文化協会への加入促進	560人	531人	518人	B	509人	B	600人	60	上
	文化財の保存・保護・活用	文化財の公開・研究	歴史・文化の拠点づくり	（仮称）さいかい市民ミュージアム（博物館）の創設	検討委員会からの答申済み 0%	検討委員会からの答申済み 0%	検討委員会からの答申済み 0%	C	検討委員会からの答申済み 0%	B	ミュージアム準備室（仮）の設置 50%	60	下
	文化財の保存・保護・活用	文化財の保存・活用	市民への啓発	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実	1,000冊 作成	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	B	適宜追記・増刷	B	適宜追記・増刷	61	上
	文化財の保存・保護・活用	文化財の保存・活用	保護・活用方法の検討	文化財の調査・研究着手件数	2件	2件	2件	A	2件	A	3件	61	下
	文化財の保存・保護・活用	地域伝統文化の継承	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上	伝統文化等の記録・保存件数	13件	13件	13件	C	13件	B	15件	62	上
	文化財の保存・保護・活用	地域伝統文化の継承	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上	認定文化財の登録件数	0件	0件	0件	B	1件	B	2件	62	下
	活力あるスポーツの振興	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの環境づくり	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）	13回	15回	34回	A	35回	A	20回	63	上

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書一覧表

重点 施策	主要施策	主要事業	施策の方向性	成果指標	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	評価	R元年度	評価	中間目標値 (R3年度)	ページ	
地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	活力あるスポーツの振興	生涯スポーツの推進	総合型地域スポーツクラブの設置と運営支援	総合型地域スポーツクラブ設立団体数	1 団体 (累計)	1 団体 (累計)	1 団体 (累計)	C	1 団体 (累計)	C	2 団体 (累計)	63	下
	活力あるスポーツの振興	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの環境づくり	アシスタントマネージャーの育成数	2人	2人	2人	C	2人	C	3人	64	上
	活力あるスポーツの振興	スポーツ指導者の育成	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上	スポーツ指導者講習会	0回	4回	3回	B	2回	B	2回	64	下
	活力あるスポーツの振興	スポーツ指導者の育成	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上	スポーツ指導者講習会への派遣回数 (年間)	0回	0回	2回	B	2回	B	2回	65	上
	活力あるスポーツの振興	スポーツ指導者の育成	「スポーツリーダーバンク制度」の確立	西海市スポーツリーダーバンク登録者数	0人	0人	0人	B	10人	B	15人	65	下
	活力あるスポーツの振興	競技スポーツの推進	競技力向上を目指した各種講習会等の開催	西海市体育協会加盟団体数	18団体	20団体	21団体	B	21団体	B	継続	66	上
	活力あるスポーツの振興	競技スポーツの推進	上位大会出場者への支援	県民体育大会参加者数（年間）	240人	258人	228人	B	256人	B	300人	66	下
	スポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備充実	スポーツ施設の整備	体育施設整備進捗率	22%	25%	30%	A	40%	A	50%	67	上
	スポーツ環境の充実	スポーツの推進体制づくり	情報提供の充実	スポーツ情報の提供（年間）	12回	8回	8回	B	21回	A	継続	67	下
	スポーツ環境の充実	スポーツの推進体制づくり	関係機関との連携強化	スポーツ関係情報交換会開催回数	0回/年	1回/年	1回/年	A	1回/年	A	1回/年	68	－